

# エコアクション21 環境活動レポート



株式  
会社

西野造園

平成28年10月1日～平成29年9月30日

第1版作成日

平成29年11月22日

# 目 次

- I. 環境方針
- II. 会社概要
- III. 体制組織
- IV. 環境負荷の実績と目標
- V. 長期環境目標
- VI. 環境活動計画書
- VII. 環境活動計画の取組結果とその評価 次期の取組内容
- VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び  
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- IX. 代表者による全体評価・見直し結果表

# I 環境方針

## 〔環境理念〕

株式会社西野造園は、生活環境を保全・創造する事業活動を通じ、緑に関する知識と技術力をもって、地域に緑の大切さを広く啓発し、積極的に環境保全活動に取り組む企業を目指します。

## 〔基本方針〕

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、組織全体で環境への配慮と事業活動が与える環境負荷の低減に努めます。そのために、下記の取組みを実行することによって、継続的な改善と環境汚染の予防に努めます。

### 1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取組み

- 1) 省エネルギー活動を推進し、CO2の削減に努めます。
- 2) 産業廃棄物の収集運搬業務において、適正処理の確保に努めます。
- 3) 省資源化及びリユース、リサイクルを推進します。
- 4) 水の効率的利用及び日常的な節水に努めます。
- 5) 化学物質使用量を抑制、管理します。
- 6) 環境に配慮した物品等を購入、使用します。
- 7) 環境配慮工事の提案・実践に努めます。

### 2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守し、法規制に対し責任・信頼感のある企業を目指します。

### 3. 環境コミュニケーションの積極的実施

環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践し、企業の社会的責任を果たします。また、全従業員にこの環境方針及び必要事項を周知し、体系的な取組みを目指します。

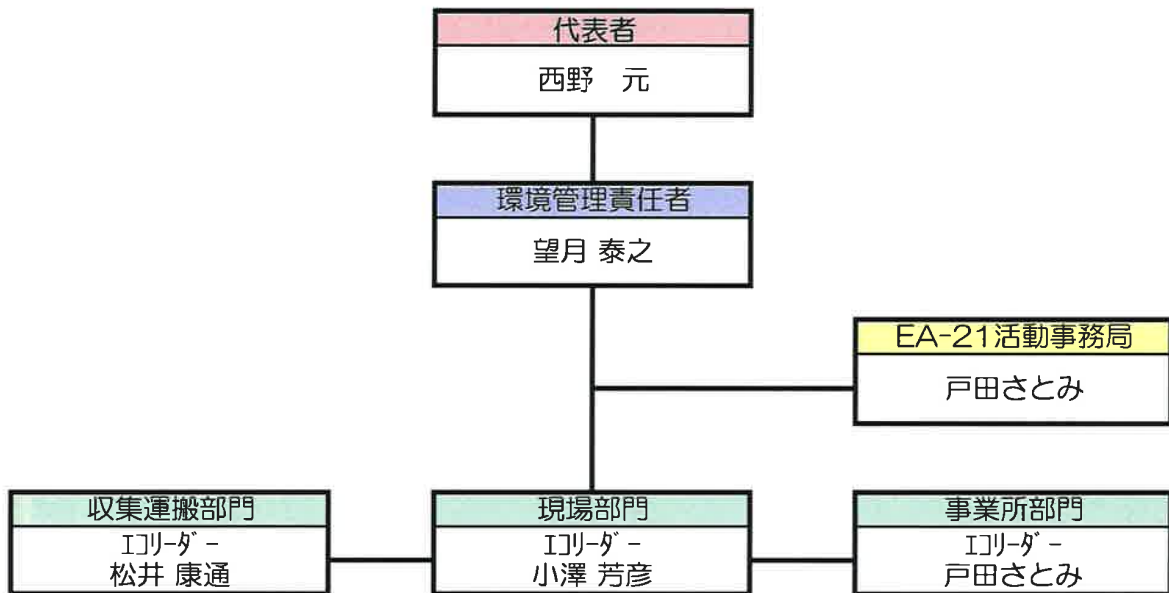
平成27年7月4日 制定

株式会社西野造園  
代表取締役 西野 元

## II 会社概要

1. 事業所名及び代表者名 株式会社西野造園  
代表取締役 西野 元
2. 所在地 (本社) 〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡4丁目1番15号  
(資材置場) 静岡県静岡市駿河区有東1丁目7-15  
(苗圃) 静岡県静岡市葵区新聞1358-1
3. 環境管理責任者及び連絡先 環境管理責任者 望月 泰之  
連絡担当者 望月 泰之  
TEL 054-283-3131 FAX 054-285-3231  
E-mail nishino@zoen.co.jp
4. 従業員数 17人
5. 事業活動の内容 造園・土木工事  
植栽等管理
- 建設業許可  
許可番号 静岡県知事許可(特-29)第1393号  
建設業の種類 造園工事業/土木工事業/とび・土工事業
  - 産業廃棄物収集運搬業(登録対象外)  
許可番号 静岡県 第02201113666号  
有効年月日 2014/9/27~2019/9/26  
許可品目 廃プラスチック類、金属くず、  
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、  
がれき類、紙くず、木くず、繊維くず 以上7品目  
許可車両 2tダンプ 3台 4tユニック車 1台  
3tダンプ 1台 2tパッカー車 1台 計6台  
※積替え及び保管行為を除く  
※現在、収集運搬実績は無し
6. 事業規模 設立年月日 昭和50年1月9日(創業:大正12年1月)  
資本金 2,000万円
- |        | 単位  | 43期<br>H28.10/1~H29.9/30 |
|--------|-----|--------------------------|
| 売上高    | 百万円 | 250                      |
| 従業員数   | 人   | 17                       |
| 事務所面積  | m2  | 193.34                   |
| 資材置場面積 | m2  | 249.54                   |
| 圃場面積   | m2  | 1356.0                   |
7. 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
8. 認証・登録の対象範囲 活動: 全事業活動

### Ⅲ 体制組織



担当	役割・責任・権限
代表者	① 環境方針の作成と従業員への周知 ② 環境への取組を実施するために必要な経営資源の準備及び投入 ③ 全体の評価と見直し ④ 環境管理責任者の任命
環境管理責任者	① 環境負荷・環境への取組の自己チェックの実施 ② 環境目標の達成状況取りまとめ及び必要な是正処置を行う ③ 環境マネジメントシステム運用状況を代表者に報告する
EA-21活動事務局	① 環境管理責任者の補佐 ② EA-21における文書の作成、記録の管理 ③ 法規制最新版の管理
部門責任者	① 環境計画の実施と、記録の管理 ② 問題点の把握と是正の実施 ③ 各担当者の教育・指導

## IV 環境負荷の実績と目標

### 環境負荷の実績（前年度対比）

項目	単位	42期	43期	増減率 %	評価	
		H27.10.1 ~ H28.9.30	H28.10.1 ~ H29.9.30			
二酸化炭素排出量	k g-CO2	45499	38579	-15.2	○	
事務所でのCO2削減	電力	kWh	15,341	16,542	7.8	○
	都市ガス	m3	55	55	0.0	○
車両・重機での CO2削減	ガソリン	L	7,912.18	5,898.50	-25.5	○
	軽油	L	7,452.69	6,305.22	-15.4	○
一般廃棄物処分量	k g	1,534	2,132	+39.0	○	
産業 廃棄物	切枝・刈草（焼却）	k g	62,410	47,530	-23.8	○
	切枝・刈草（堆肥）	k g	343,657	270,319	-21.3	
	リサイクル率向上	%	81.8	82.4	+0.6	
水道使用量の削減	m3	77	71.5	-7.1	○	
グリーン購入率向上	%	39	41.2	+5.6	○	
環境コミュニケーション及び社会貢献	—	実施	実施		継続	

\*電力のCO2排出係数は中部電力㈱の0.497kg-CO2/kWh(2016年)を使用。

\*ガソリン使用量は仕事量によって増減するが、今後もエコドライブなど推進しCO2削減に努める。

\*産業廃棄物はリサイクル率向上を目標とする。

\*今後グリーン購入については、建設資材も検討し購入率向上に努める。

## 環境負荷の目標と実績

項目		単位	40期	43期		目標に対する 評価	
			基準年	目標	実績		
二酸化炭素排出量		k g -CO2	56994	48866	38579	○	
事務所でのCO2削減	電力	kWh	18254	15650	16542	○	
	都市ガス	m3	67	57.5	55	○	
車両・重機での CO2削減	ガソリン	L	9589	8222	5898.5	○	
	軽油	L	9723.98	8337	6305.22	○	
廃棄物	一般廃棄物処分量		k g	2197	1884	2132	○
	産業 廃棄物	切枝・刈草（焼却）	k g	115470	99001	47530	○
		切枝・刈草（堆肥）	k g	332804	285338	270319	○
	リサイクル率向上		%	74.2	79.9	82.4	○
水道使用量の削減		m3	125	107.3	71.5	○	
グリーン購入率向上		%	18	20.8	41.2	○	
環境コミュニケーション及び社会貢献		—	実施	実施	実施	継続	

\*長期環境目標として基準年より毎年5%の増減を目指す。

## V 長期環境目標

項目		単位	43期	44期	45期	46期	47期
			H28.10~H29.9	H29.10~H30.9	H30.10~H31.9	H31.10~H32.9	H32.10~H33.9
二酸化炭素排出量		kg-CO2	-5.0%	-5.0%	-5.0%	-5.0%	-5.0%
事務所でのCO2削減	電力	kWh	-5.0%	-5.0%	-5.0%	-5.0%	-5.0%
	都市ガス	m3	-5.0%	-5.0%	-5.0%	-5.0%	-5.0%
車両・重機でのCO2削減	ガソリン	L	-4.0%	-4.0%	-4.0%	-4.0%	-4.0%
	軽油	L	-4.0%	-4.0%	-4.0%	-4.0%	-4.0%
廃棄物	一般廃棄物処分量	kg	-3.0%	-3.0%	-3.0%	-3.0%	-3.0%
	産業廃棄物 切枝・刈草（焼却）	kg	-3.0%	-3.0%	-3.0%	-3.0%	-3.0%
	切枝・刈草（堆肥）	kg	+1.0%	+1.5%	+2.0%	+2.5%	+3.0%
	リサイクル率向上	%	+1.0%	+1.5%	+2.0%	+2.5%	+3.0%
水道使用量の削減		m3	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%
グリーン購入率向上		%	+1.0%	+1.5%	+2.0%	+2.5%	+3.0%
環境コミュニケーション及び社会貢献		—	実施	実施	実施	実施	実施

\*環境目標は40期（H25.10~H26.9）を基準年とした基準年比率を示します。

\*ガソリン・軽油使用量は、今後もエコドライブなど推進しCO2削減に努めます。

\*産業廃棄物は継続してリサイクル率向上を目標にします。

\*水道使用量は事務所のみの為、長期的に持続できるような目標設定にしましたが、これからも節水を呼びかけ使用量削減に努めます。

\*グリーン購入率については、今後も建設資材を検討し購入率向上に努めます。

\*農薬を使用する際は、環境や地域住民の方々などに十分配慮して使用します。







## Ⅶ 環境活動計画の取組結果とその評価 次期の取組内容

目 標	計 画	担当	実 績	評価	次期の取組内容
電力  -5%	・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房22℃)	稲葉 塚本	 <p>啓発ポスターにより 節電意識をつける</p> <p>前年度よりプラス7.8% (プラス15,944円) 使用量(使用料金)の増加</p>	○	外気が温かい日中はエアコンを消す等、無理のない範囲で空調管理に努める
	・不要照明の消灯			○	休憩時は消灯に協力してもらう。又、不必要についている電源タップの個別スイッチは、気づいた人が速やかに消す
	・エアコン、照明等定期的清掃			×	12月と5月に定期清掃を行う
	・PC、OA機器等未使用時の電源OFF			△	省電力設定だけに頼らず、シャットダウンの習慣をつける
都市ガス  -5%	・冬場の使用が多いため夏場は削減の徹底を図る	森下 松井	 <p>適正な温度設定</p>	○	使用頻度が高い冬場の点検・手入れにより、異常がないかを早期に見つける
	・食器を洗うときは設定温度を低くする			○	継続して温度設定内で使用する
ガソリン・軽油  -5%	・アイドリングストップ	小澤	 <p>毎月の使用料と前月差を把握し問題点を迅速に見つけることが出来た</p> <p>啓発ポスター、車検による適正な車検整備</p> <p>ガソリン・軽油共に 前年度よりもマイナス15～25%減少</p>	○	定着してきたが、これからも継続していくため周知徹底する
	・定期的な車両点検			△	安全運転管理者による、安全運転意識向上教育を定期的に行う
	・エコドライブの推進			○	定着しつつあるエコ運転をさらに継続させる
	・効率的な運行経路の選択			△	工事担当者による安全教育で作業員への周知を徹底する

目 標	計 画	担当	実 績	評価	次期の取組内容
一般廃棄物  -5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別の徹底及び適切な処分</li> <li>・ 不要なコピー・プリントの削減</li> <li>・ 2 in 1 や裏紙使用によるペーパーレス化</li> <li>・ 梱包材の再利用</li> <li>・ 詰め替え型商品の購入</li> </ul>	事務	 <p>コピー機機能の有効活用 不要なページ印刷を削減 不要なカラー印刷をモノクロ印刷へ</p>  <p>廃棄物の削減に繋がるエコ商品の使用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分別収集は、分類しやすい処分場所を新設する</li> <li>△ DMファックスは断りの連絡を行う</li> <li>○ 個人の記録・社内の印刷物は、今後も2 in 1 や両面印刷を行う</li> <li>△ 処分する場合、圧縮・減量に努める</li> <li>○ 洗剤等に限らず、詰め替え商品のレパートリーを増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分別収集は、分類しやすい処分場所を新設する</li> <li>△ DMファックスは断りの連絡を行う</li> <li>○ 個人の記録・社内の印刷物は、今後も2 in 1 や両面印刷を行う</li> <li>△ 処分する場合、圧縮・減量に努める</li> <li>○ 洗剤等に限らず、詰め替え商品のレパートリーを増やす</li> </ul>
産業廃棄物  +5% (リサイクル率向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業ミスによる廃棄量の削減</li> <li>・ マニフェストによる適正管理</li> <li>・ 切枝・刈草（焼却）の適正処理</li> <li>・ 切枝・刈草（堆肥）の適正処理</li> <li>・ 建設副産物リサイクル率向上に努める</li> <li>・ 資材の整理整頓</li> </ul>	現場責任者	  <p>マニフェストによる適正管理で、建設副産物リサイクル率向上に努めた</p>   <p>資材の整理整頓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 設計値プラスアルファは、経験のある者の意見を取り入れる</li> <li>○ 現場担当者は工事終了とともに必ず、マニフェストを集計する</li> <li>○ 今後も最終処分を減らし、再利用率をあげる努力をしたい</li> <li>○ 再利用率向上で廃棄物排出量の削減をめざしたい</li> <li>○ 今後もマニフェストによる適正管理をしていきたい</li> <li>○ 継続して社内の整理整頓に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 設計値プラスアルファは、経験のある者の意見を取り入れる</li> <li>○ 現場担当者は工事終了とともに必ず、マニフェストを集計する</li> <li>○ 今後も最終処分を減らし、再利用率をあげる努力をしたい</li> <li>○ 再利用率向上で廃棄物排出量の削減をめざしたい</li> <li>○ 今後もマニフェストによる適正管理をしていきたい</li> <li>○ 継続して社内の整理整頓に努める</li> </ul>

目 標	計 画	担当	実 績	評価	次期の取組内容
水道使用量  -5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水ポスター掲示</li> <li>水漏れの点検</li> </ul>	森下 松井	 <p>啓発ポスターを張り 節水を呼びかけた結果、 前年度よりマイナス7.1% (マイナス370円) 使用量(使用料金)の減少</p>	<p>△</p> <p>○</p>	<p>掲示物は見慣れてしまうので、ある程度の期間で新しいものと取り換える。洗濯はまとめ洗いを。</p> <p>1月と7月に行う</p>
グリーン購入  +5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に優しい資材等の情報収集</li> <li>事務用品等グリーン購入の検討</li> </ul>	戸田	<p>グリーン購入量</p>  <p>前年度より5.6%の増加</p>	<p>△</p> <p>○</p>	<p>もっと多くの建設資材でのグリーン購入対象商品を探し、現場と情報を共有する</p> <p>今後も比較検討を行い、購入品を決定する</p>
環境コミュニケーション及び 社会貢献  実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に喜ばれる活動</li> </ul>	松井	 <p>社内外共に活動を実施</p>	<p>○</p>	<p>道路清掃や緑化イベント参加など社会貢献活動を実施。社内に観葉植物を置きCO2削減に努めた。今後もみどりの保全及び緑化推進に努め、地域に喜ばれる企業を目指していきたい</p>

## Ⅷ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守状況確認日 平成29年4月10日～5月19日

環境関連法規等名称	適用内容又は規制基準値	当社の適応及び対応	遵守状況	備考
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事施工計画書工事完了届	○	【対象工事】
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬及び処分業者との委託契約	契約書の締結	○	H28東新田大割公園外19公園 遊具取替工事
	産廃収集運搬業許可の更新	許可証の有効期限(2019/9/26)	○	
	マニフェストの管理・保管	D票/E表の返却・5年間	○	H28公整第6号 (仮称)登呂二丁目公園整備工事
	マニフェストの期間内返却	90日以内又は180日以内	○	
	マニフェストの年間集計と静岡市長への報告	毎年6月30日までに提出	○	H28公整第11号 (仮称)南八幡町公園整備工事
	廃棄物の飛散防止	車両荷台へシートを被わせる及び過積載の禁止等	○	
道路交通法	安全運転の義務	エコドライブに努める	○	
家電リサイクル法	特定電化製品の適正な引渡し	販売店又はメーカーにて(有料)処分	○	対象なし
国土交通省排ガス3次規制	排出ガス対策型建設機械	バックホウ・発電機など	○	
PCリサイクル法	OA機器の適正な引渡し	販売店又はメーカーにて(有料)処分	○	対象なし
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○	対象なし
農薬取締法	対象外への飛散防止	静岡県農薬管理指導士	○	H31年まで更新者なし
	在庫保管状況	管理記録簿の確認	○	
グリーン購入法	環境物品等の購入に努める	購入記録	○	
静岡市みどり条例	積極的にみどりの保全及び緑化の推進に努める	市が実施するみどりの保全及び緑化推進に関する施策に協力する	○	

2. 関連機関からの違反指摘及び利害関係者からの違反指摘、訴訟等の受付は過去3年間にわたりありませんでした。

## Ⅹ 代表者による全体評価・見直し結果表

作成日：平成29年10月5日

見直しに必要な情報	
項目	確認（必要に応じて評価・コメント記載）
① 環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
② 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組む
③ 環境活動計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組む
④ 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
⑤ 環境関連法要求一覧及び順守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
⑥ 問題点の是正・予防処置実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組む
⑦ その他	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし

全体評価と見直し		
見直し項目	見直しの有無	「有」の場合の指示事項等
① 環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
② 環境目標及び目標達成状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
③ 環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
④ 環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
⑤ その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
⑥ その他（外部への対応等）	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

### 【全体評価・コメント】

平成27年7月4日、環境方針を制定してから2年が経過し、社員の中に環境問題に取り組む自覚が定着しつつあることが実感できるようになりました。ただ、活動としては、まだまだ未熟で目標と活動計画の中身が整合していなかったり、短期目標と長期目標が混同したりして今後の課題も山積しています。せめて2ヶ月に1度は活動を振り返り、修正するタイミングを逃さないような取組をしていきたいと思いをします。

平成29年10月5日  
株式会社西野造園  
代表取締役 西野 元